

## 〈速報〉 昭和62年スギ・ヒノキ花粉飛散状況について

薬袋 勝 中村美奈子

論文 Japanese Cedar Pollen Density in 1987

Masaru Minai and Minako Nakamura

毎年3月ごろより発生する花粉症はスギ・ヒノキの花  
粉により引き起され、患者数の増加傾向により社会問題  
化しつつある。筆者等は空中花粉の測定を行ない、集積  
された成績を解析、花粉飛散状況を予測し、毎日の花粉  
予報を提供し本症の予防の一助とする事を目的として昭  
和60年より空中花粉量の測定を実施している。しかし、  
山梨における空中花粉の状況についての資料の集積は少  
なく、空中花粉予報を提供するまでには至っていない。

昭和62年のスギ花粉の飛散開始予測が東京都では2月  
13日ごろとされたため、今回は、例年より3週間早く2  
月9日よりスギ・ヒノキ空中花粉の測定を開始した。測

定は、衛生公害研究所屋上に設置した標準花粉捕捉装置  
を用い、24時間(開始時間 午前9時)に捕捉した花粉  
をGV glycerin jellyにより封入、染色し算定した。

2月よりのスギ・ヒノキ花粉の飛散状況を11週74日の  
成績としてまとめ表及び図1に示した。スギ花粉は測  
定開始時には既に確認され、2月11日に26個(1平方cm  
あたりの換算値、以降略す)を記録しスギ花粉の大量飛  
散が懸念された。しかし、2月中、下旬の天候不順(降  
雪、低温)の影響もあって飛散量の増加傾向は見られな  
かった。本年の平均飛散量はスギ4.3個ヒノキ6.7個  
で、60年と比較すると1/4の量で少なかった。またスギ

表 昭和62年 スギ・ヒノキ花粉飛散状況

測定期間 月/日	スギ・ヒノキ花粉量					平均飛散量		平均 最高気温
	微量	少量	やや多い	多い	非常に多い	スギ	ヒノキ	
	0~3	3.1~10	10.1~30	30.1~100	100~			
第1週 2/ 9~15	4		3			8.2	0	14.3
第2週 2/16~22	6		1			3.8	0	8.1
第3週 2/23~3/1	4	2		1		8.1	0.6	9.3
第4週 3/ 2~8	3	1	3			9.4	4.4	12.5
第5週 3/ 9~15	2	2	2	1		8.1	5.1	11.7
第6週 3/16~22		4	3			3.3	3.9	16.2
第7週 3/23~29	2	2	3			1.6	8.3	16.3
第8週 3/30~4/5	1	1	4	1		0.6	20.2	17.7
第9週 4/ 6~12	2		4	1		0.2	15.9	20.1
第10週 4/13~19	2	4	1			0.1	5.2	20.1
第11週 4/20~23	1	3				0.1	4.3	26.3
計 74日	27	19	24	4	0	4.3	6.7	
	62%		38%					
S60年 70日	9	20	15	14	12	21.7	30.7	
	41%		59%					
S61年 61日	18	20	16	4	3	39.9	4.5	
	62%		38%					

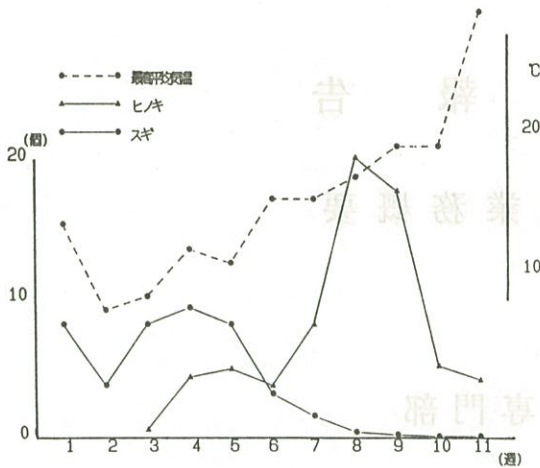


図1 昭和62年 週別花粉量の変動 (第1週 2/9~2/15)

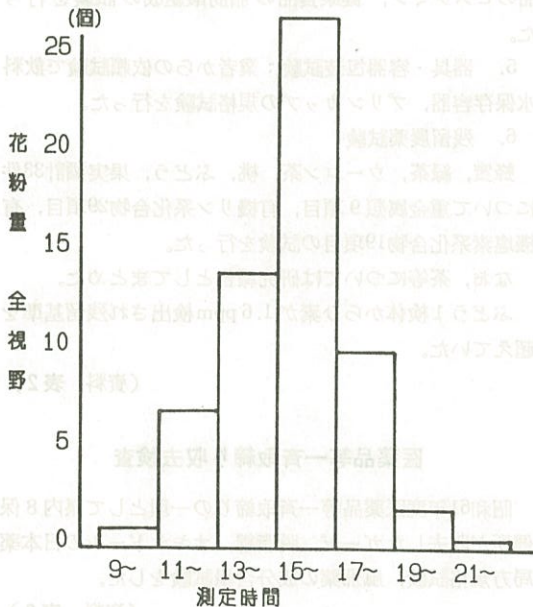


図2 1日の花粉量の変動

・ヒノキ花粉量の合計値が10個以上測定された日は26日(38%)で、60年41日(59%)より明らかに少ない日数であった。1日の飛散状況は図2で見られるごとくヒノキ花粉が主な4月に観察した結果、飛散のピークは午後(15時に最大値)に見られ、朝及び夜間は非常に少ない

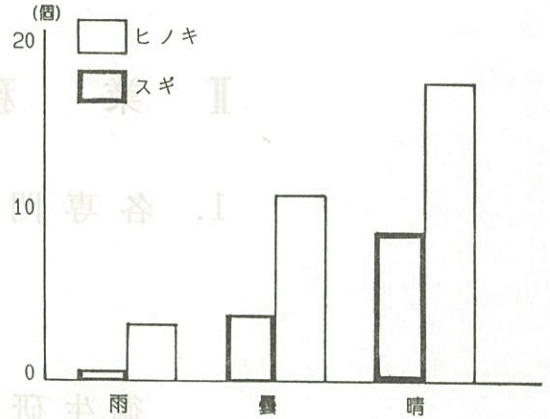


図3 天候別花粉量の変動

成績であった。60年3月(スギ花粉)の成績でも同様に午後ピークがある類似した成績であり、スギ花粉とヒノキ花粉では1日の飛散状況に差がないと考えられた。また天候による状況は図3に示すごとく雨天(降雪)時には花粉の飛散は少なく、天候に影響されており60年の成績と同様であった。

以上の結果より62年の成績は飛散開始時期は例年よりスギ及びヒノキ花粉とも2~3週早く開始したが、飛散量はいずれも少なかった。しかし、飛散量が少ないと言ってもスギ及びヒノキの花粉量が6~10個で発症すると言われており、この数を越えた10個以上飛散が見られた日が28日あり有症者にはかなり影響があったと思われる。

前述のごとく、現状では空中花粉の予報を提供する事は出来ないが、有症者の個々が前日の成績と発症状況及び天候よりその日の天気予報を参考に本症を予防する事が可能である(筆者も毎年春に花粉症に悩んでおりこの事を試みているが良い結果を得ている)。このため本年はこの成績を午前9時に測定される24時間値を速報値として、また月曜より日曜までのまとめを週報として県庁記者室にたいし情報提供を行なってきた。この結果NHK TV, YBSラジオ及び山梨日日新聞より前日の花粉量として発表され有症者より良い評価をうけた。来年も2月より空中花粉情報の提供を予定しているが、今までの成績の解析をもとに週間予報も計画している。